

全業種総合

回答企業数290企業（回答率99.66%）

概況

～総合的業況判断DI値 やや悪化で推移～

総合的業況判断DI値は、前期比8.0ポイント低下の▲5.2とやや悪化した。

業種別での業況判断DI値は、飲食業が26.4ポイント低下の36.8、運輸業は30.0ポイント増加の20.0、サービス業が2.4ポイント上昇の14.3となった。一方で建設業が3.5ポイント低下の▲1.8、卸売業が3.4ポイント低下の▲13.8、製造業が15.2ポイント低下の▲15.2、小売業が14.3ポイント低下の▲19.8、不動産業が11.1ポイント低下の▲22.2となった。運輸業、サービス業が改善したものの、6業種についてはやや悪化・悪化となった。

～経営上の問題点～

業種全体で「材料仕入価格の上昇」106先、「人員不足」101先、「売上の低迷・減少」86先、「利幅の縮小」76先、「経費の増加」56先と上位を占めた。

前回調査比、「材料仕入価格の上昇」は2先増加、「人員不足」が13先増加、「売上の低迷・減少」は同数、「利幅の縮小」は4先増加、「経費の増加」13先減少となった。

設備投資計画では、「予定あり」とした企業が36先、前期比1先減少、設備投資実施予定割合は12.4%と前期比0.3%減少した。業種別では、製造業（土地・建物・機械等）21.2%、サービス業（土地・建物・機械等）16.7%、小売業（建物・機械・機械等）12.1%、不動産業（土地・建物）11.1%、飲食業（建物・機械）10.5%、運輸業（建物・機械）10.0%、建設業（土地・建物・機械等）8.8%、卸売業（建物・機械）6.9%となった。

資金繰りDI値は、前回調査比3.5%低下の▲9.3と悪化、今期借入した企業は19.7%と前回調査時（17.5%）より2.2%増加となった。

来期の見通し

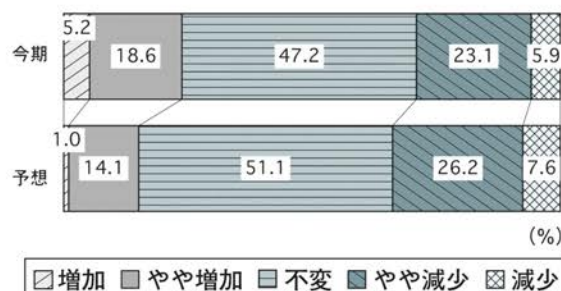
～総合的業況判断DI値 悪化の見通し～

各業種の見通し業況判断DI値は、今回調査比13.4ポイント低下の▲18.6と悪化の予想となった。

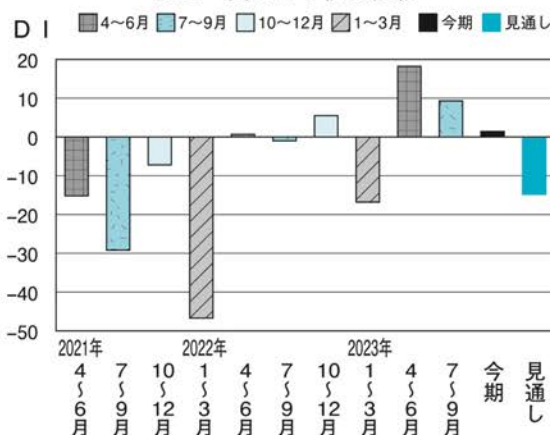
業種別では、飲食業が21.0ポイント低下の15.8、卸売業が10.4ポイント上昇の▲3.4、小売業が4.4ポイント上昇の▲15.4、製造業が9.0ポイント低下の▲24.2、サービス業が40.5ポイント低下の▲26.2、建設業は26.3ポイント低下の▲28.1、運輸業は50.0ポイント低下の▲30.0、不動産業も22.2ポイント低下の▲44.4と、来期の見通しは飲食業以外すべてマイナスに転じた。

今期資金手当てした先が19.7%であったが、今後資金手当て等借入を予定している先は15.9%となっている。

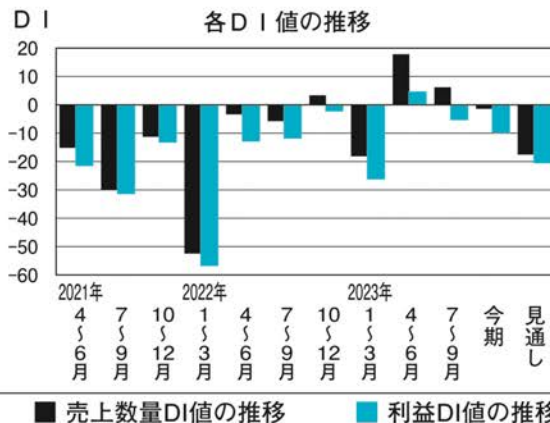
業況判断（全業種）



売上・受注DI値の推移



各DI値の推移



設備投資計画の有無

